

年 組 名前：

高校生ら約20人が会員制交流サイト(SNS)を使い、子どもに関する悩みを持つ親の相談に、子どもの立場で答える「1818相談室」を立ち上げた。不登校やいじめ被害を経験したメンバーが、体験をもとに助言する。発起人のクラーク記念国際高校前橋校3年郡涼葉さん(17)は「子ども目線だから、伝えられることもある」と語る。

郡さんは中学時代に人間関係で悩み、最初に通った高校で不登校に。母親が自分以上にふさぎ込む姿を見てつらかった。

相談はツイッターとインスタグラムに開設したアカウント「1818相談室」で受け、内容をメンバーがLINE

親の悩みに 高校生回答

SNSで相談室

(ライン)で共有。回答が集まり次第、相談者に返信する。今年1月の開設以降、不登校や進路などの相談が多く寄せられた。

メンバーは郡さんに賛同した高校生や大学生。それぞれがネコやライオンなど、9種類の動物のアイコンで自分の性格を表現している。子どもの側にも、さまざまな考え方があることを知ってもらった。

郡さんは安定した相談室運営のため、NPO法人の設立を目指しているほか、より多くの相談に対応できるシステムを構築する協力を募っている。「不登校は良い思い出ではないが、その経験も誰かの役に立っていると実感できる。前向きな気持ちになる手伝いができればうれしい」と話した。

(2021年7月3日付 山梨日日新聞 19面)

問1 発起人である郡涼葉さんらが立ち上げた「1818(いちいちいち)相談室」は、どんな若者たちがメンバーですか。

.....

問2 子どもに関する悩みを持つ親から寄せられる相談で、多い内容を挙げてください。

.....

問3 「1818 相談室」を立ち上げた目的として、正しいものに○を付けてください。

- 「 」 公的相談機関の補完的存在になりたい 「 」 つらい体験が誰かの役に立てられる
- 「 」 子ども目線だから伝えられることがある 「 」 前向きな気持ちになる手伝いがしたい
- 「 」 人の悩みを聞くことで気分をスカッとさせたい